

二〇二二年度

史学・地理学会大会報告

二月三日(土)第一学舎一号館A六〇二教室において、二〇二二年度関西
大学史学・地理学会大会が開催されました。大学院生・学部生が日頃の研究成
果を発表しました。また、A六〇一教室において、ポスター発表を行いました。
二組の大学院生・学部生が日頃の研究を、ポスター形式で発表しました。
発表終了後に総会が開かれ、会計報告・編集委員会報告・事業報告が承認され
ました。

【口頭発表】

塔心礎からみる古代寺院の属性についての一試考

古王国時代の供養碑と神王理念

木津川流域における天井川の発達過程から見た自然災害の特徴

『作庭記』写本の奥書と字句に関する調査報告

【講演】歌舞伎化された岩倉具視

——一九三三年の〈史実〉と〈創作〉——

唐前半期における北辺支配研究 —— 河北道を中心に ——

今帰仁村謝名における伝統的集落景観の構造理念

時衆における国阿・一遍像の変奏

——伊勢・熊野の神祇と不浄をめぐって——

パライオオロゴス朝における外交政策

——マヌエル二世治世の事例——

長野県木曾開田高原における馬と人間の共生

——在来農業と集落・家屋構成の視点——

私鉄沿線における文化資源の発掘とその活用

——近鉄奈良線と南海高野線の社寺参詣・観光の比較—— 張 銘珊

【ポスター発表】

島根県出雲市の自然環境と人文環境1

上野颯亜 北村達也 久野拓馬 隅田尚亮

西温紀 野垣光希 藤浪可奈恵 森川弘世

森本桜子 朴智娜 高田協平 土屋純

島根県出雲市の自然環境と人文環境2

松田治樹 塩谷唯 和田多生 張然

神谷風奈 吉岡加帆 張銘珊 楊琯屹

松井幸一

中村真里絵

粟生木彩里

潘 多

佐藤 愛

官田 光史

李 若瑤

楊 琯屹

藤根 郁巳

大島慎太郎

張 然